

## 平成 26 年度 第 2 回中部ブロック研修会 議事録

■日時 2014 年 12 月 14 日(日) 9:30~12:00

■場所 男女共同参画センター あざれあ 第 2 研修室

■参加者 26 名 ※他ブロック 5 名、県外 2 名を含む

■内容 9:00 受付開始

9:30 「全身の姿勢や筋・関節機能から嚙下を考えよう！」

医療法人社団栄成会 おおや整形外科クリニック リハビリテーション部 部長

株式会社リハライフサポート 代表取締役社長

理学療法士 九戸栄介先生

11:00 休憩

11:10 業務・症例相談

テーマ① 『高次脳機能障害へのアプローチ』

コミュニティーホスピタル甲賀病院 小長谷拓郎さん

テーマ② 『乳児の哺乳障害への介入～ミルクの経口摂取をめざして～』

静岡てんかん神経医療センター 神山陽香さん

テーマ③ 『後輩指導・勉強会について』

静岡リハビリテーション病院 角田潤さん

11:50 次回研修会の内容の検討

12:00 終了



前半は理学療法士である九戸栄介先生に「全身の姿勢や筋・関節機能から嚙下を考えよう！」というテーマで講義を行っていただきました。STでも行える骨盤の前傾方法、肩甲帯などの評価方法、大胸筋のストレッチ、肩周囲の体操などについて、実技中心で教えていただきました。一人一人丁寧に指導していただいたため、非常に分かり易く、翌日の臨床から役立つことができる内容でした。



後半は業務・症例相談では各テーマ毎(3グループ)に分かれて意見を出し合いました。経験年数に関わらず、活発な意見交換が行われていました。下記に各相談者の感想を記載しました。

### 『高次脳機能障害へのアプローチ』

ディスカッションには、急性期～維持期の病院・施設に勤務されている方が参加されました。高次脳機能障害について、「評価はするけれども訓練は行わない」「評価・訓練とも行わない」といった意見が多く、高次脳機能障害に対してアプローチを行っていない病院・施設が思いのほか多いことに驚きました。また、高次脳機能障害のリハビリを行っているところでも机上の訓練が多らしく、それが日常場面に繋がるのか疑問を持ちながらリハビリを行っている方もいるようでした。(コミュニティーホスピタル甲賀病院 小長谷拓郎さん)

### 『乳児の哺乳障害への介入～お楽しみレベルでの経口摂取をめざして～』

重度新生児仮死で出生した児への介入について相談させて頂きました。今すぐ経口摂取へ繋げる事が難しい児への介入では、認知面の向上と母親指導が重要であるという事を、再確認する事が出来ました。また、口腔周辺や口腔内への刺激ばかりではなく、抱っこ遊びなどを通して揺れるといった感覚統合も取り入れる事が大切であるという事を教えて頂きました。ご相談によって頂いた先生方貴重なご意見をありがとうございました。(静岡てんかん神経医療センター 神山陽香さん)

### 『後輩指導・勉強会について』

私の職場の「後輩指導」としては日々の業務の中で「報・連・相」での指導の他に、勉強会・症例検討会等を行っていますが、「後輩指導が十分に行えていないのでは」と日頃感じています。そこで他施設ではどのように指導・院内研修会等を行っているかを相談させて頂きました。相談の中で、ベテランが中堅を指導し、中堅が新人を指導するという具合に、組織化をしているという話がありました。また、後輩との雑談を多くするようにし、困っていることを聞き出しているという方や、なるべく後輩の近くでリハビリをするようにし、お互いが何をしているかわかるように工夫しているという方もいました。院内勉強会を行っている施設がほとんどでしたが、多忙な為、業務時間外で行うことは難しくなってきたという問題点もあがりました。今回お聞きした他施設の工夫を取り入れ、今後の指導に役立てていきたいと感じました。(静岡リハビリテーション病院 角田潤さん)

■次回(予定) 日時 : 2015年5月10日(日) 9:30~12:00 場所 : あざれあ 505 会議室  
内容 : 業務・症例相談 ※詳細は改めて連絡致します

## ■アンケート結果(25/25 枚)

- ① 参加した感想 「よかった」:25人 「まあまあ」:0人 「よくなかった」:0人
- 実技を交えながらの講義は分かり易かった。もっと詳しく時間をかけてでも行いたい。
  - 他職種の先生からお話を聞くと、違う方向からも嚥下について考えることができました。
  - 実技だったので明日から、すぐに役立てることができると思いました。
  - 講義があり、大変よかったです。人数も少なく、質問もできてありがたかったです。会員から受講料の支払いがあっても良いので今回のような講義をやっていただきたい。
  - 症例検討会の発表の機会をいただき、自分で悩んでいることを相談させていただいたので、とてもありがたかったです。
  - 症例相談は皆で悩みを相談できて良かったです。
  - 後輩指導の具体的なことを聞けてよかった。悩みは同じだと思った。同じような悩みは沢山あると思うので、また相談会をやってほしいです。

など

- ② 内容について 「とても勉強になった」:25人 「まあまあ」:0人 「あまり参考にならなかった」:0人
- 頸部や肩甲骨の動きが嚥下に関係があることを具体的に理解することができました。
  - ポジショニングや筋緊張のおとし方など、勉強になりました。
  - 姿勢や運動へのアプローチが必要だと分かっている、どのようにアプローチして良いのか分からなかった、明日から実践できる内容を教えていただくことができ、大変勉強になりました。
  - 先生に質問しやすい雰囲気、分かり易かったです。

## ③ 取り上げてほしいテーマや情報

[食事・摂食嚥下] 食具の検討や評価法など / 小児の嚥下障害 / 認知症の嚥下障害

[高次脳機能障害] 認知機能訓練 / 高次脳機能障害者への社会復帰についての支援方法

復職を見据えた高次脳機能患者への訓練や指導 / 認知機能低下患者への認知機能法

[失語症] 全体構造法 / 重度失語症患者のコミュニケーション手段や訓練

[その他] 脳画像の見方 / リハ栄養 / 呼吸リハや呼吸介助 / LSVT-LOVD の理論や実施状況

## ④ 個人や勤務先で行っている勉強会や講習会や患者の会などの情報、参加したい勉強会

※特に記載なし